

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-168885

(P2010-168885A)

(43) 公開日 平成22年8月5日(2010.8.5)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)
 E O 2 F 3/43 (2006.01) E O 2 F 3/43 D 2 D 0 0 3

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 21 頁)

(21) 出願番号	特願2009-146121 (P2009-146121)	(71) 出願人	304029941
(22) 出願日	平成21年6月19日 (2009.6.19)		新田 尚正
(31) 優先権主張番号	特願2008-329745 (P2008-329745)		香川県綾歌郡綾川町畑田 2 7 2 7 - 1 0
(32) 優先日	平成20年12月25日 (2008.12.25)	(74) 代理人	100114616
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)		弁理士 眞下 晋一
		(72) 発明者	新田 尚正
			香川県綾歌郡綾川町畑田 2 7 2 7 - 1 0
		F ターム (参考)	2D003 AA01 AB03 AC02 BA01 BB02
			CA02 DA02 DA04 DB04 DB08
			DC02 FA02

(54) 【発明の名称】 掘削支援装置および掘削支援方法

(57) 【要約】

【課題】 建設機械による直線掘削を簡便に且つ精度良く行うことができる掘削支援装置を提供する。

【解決手段】 建設機械を用いた掘削作業を支援する装置であって、掘削箇所近傍に設置され、レーザ光を基準面 S に沿って出射する投光器 2 と、レーザ光を受光する受光部を長手方向に沿って複数有し、アーム 4 に取り付けられる受光器 1 1 と、アーム 4 の傾斜角度を検知する傾斜センサ 1 2 と、受光器 1 1 及び傾斜センサ 1 2 の検出信号に基づいて基準面 S からバケット 3 先端までの実際の掘削深さ H 1 を演算し、これを予め設定された指定掘削深さ H 3 と比較して掘削誤差 H 2 を求める制御部とを備える。

【選択図】 図 1

